

～あした、転機になあれ!～

美し島から... 哲楽さびら。



紀夕 (きき)

哲學家。那覇市出身。1998年に早稲田大学第一文学部哲学科東洋哲学専修を卒業。「自ら考え、自ら動く力を磨く社員研修を」との依頼を受け、「哲学のチカラを、笑顔のチカラに」をテーマに、さまざまな企業現場でサポートを行っている。特に「若手リーダー・女性スタッフがイキイキ元気に働ける職場づくり」を哲楽する研修は、好評。現在は、沖縄の表現で「Let's 哲楽」を意味する「哲楽さびら。」を合言葉に、沖縄発で職場に哲楽習慣・風土を広めるべく活動を展開中。

職場を元気にする哲楽レシピ その十二

「飲みニケーション」を哲楽すると...

飲み会が盛り上がるのはアルコールが入るから?

「アルコールが入れば、もつと話
が盛り上がるんですけどね。会議
では、ちよつと...」「やつぱり、飲
みニケーションは大事でしょ」

会議でも打ち合わせでも、そして
飲み会での雑談でも、組織のコミュ
ニケーションについて、話題になっ
たときによく出会うコメントです。
また、「やつぱり、そうだよね!」
というのも、定番の合いの手。

でも、本当にアルコールの効果な
のだろうか?

思わず、哲楽家のアンテナが反応
してしまいました。

だって、もしアルコールが入らな
ければ話が盛り上がらないのであれ
ば、ノンアルコール状態の仕事の中
には不可能である...という結論に。飲
めない体質の人は、永遠に話が盛り
上がらず、本音も語れないことにな
ってしまいます。そんなことでは
困りますし、そんな結論であきら
めるわけにはいきません! 職場の
方々との雑談がきっかけで、紀夕の
プロ魂スイッチがONになりました。

「もしも、研修のときに出される
飲み物がお茶ではなくて、ノンアル
コールビールだったら...どうなるの
だろう?」

心の真ん中に浮かんだのは、そん
な問いかけでした。

「飲み会」という場には、実は、
アルコールのほかにもいくつか要素
があります。仕事が終わった夜とい
う時間だから? 職場とは別の会場
だから? BGMがかかっているか
ら? お料理があるから? 仕事の話
をしないから? 評価には影響しな
いから? 自分自身がリラックスし
ているから? 「無礼講」という安心
感?... などなど。

「飲みニケーションが盛り上がる
のは、アルコールがあるから」と決
めつけるには、まだまだ早いと思っ
たのです。もしかしたら、ペットボ
トルではなく、バーにあるようなゲ
ラスに入れるだけで、たとえお茶で
も、気分が変わることだってあるか
もしれません。

ノンアルコールビールでも 話は盛り上がる!

ある企業との打ち合わせのときに
も、ちよつと「飲み会だったら、よ
くしゃべるメンバーなのですが...」
という声が出たので、このお話をし
てみました。誰か、関心を持ってく
れる方がいればという思いで。

すると、返ってきたのは思いがけ
ないどころか思った以上のお返事
でした。

「面白いですね! では、当日は、
ノンアルコールビールを準備しま
しょう」

というわけで、私の10年のキャリ
アの中で初めての「ノンアルコール
ビールでの乾杯つき研修」の実現と
なりました。

私の経験上、参加者が女性ばかり
の研修ではアルコールなんて関係な
く、話に花が咲くことがほとんど。
一方、男性ばかりのリーダー研修で
は、(私が女性であることも原因か
もしれませんが) 緊張感や遠慮など
から独特の硬さを感じることも多い
です。ほとんどの場合は、始まりだ
けですが(笑)。

そんなときに「では、ビールで乾
杯しましょう! ノンアルコールで
すが」という提案は、とても驚かれ、
それだけで空気が変わりました。

「かんばしい!」の後には「やつ
ぱり本物だともつとよかったなあ」
というつぶやきに大笑いしつつ、明
らかに、乾杯の前と違う盛り上がり
が生まれていました。その変化は、
参加者の皆さんも感じたようで「こ
れ、ホントはアルコール入ってるん
じゃないの?」という声飛び出す
ほど。私の予想を超える、驚きのノ
ンアルコール効果でした!

飲みニケーションが盛り上がるの
も、会議が盛り上がらないのも、ア
ルコールが一番の原因ではないと確

信じた、私にとってひとつの事件
でした。カギは「雰囲気」づくり。
だとしたら、アルコール0%状態の
業務中でも、工夫できることはもつ
といういろいろあるはず。なんだか、ワ
クワク勇気が湧いてきませんか?
これからも、実験してみます。よ
ろしければ、ご一緒に。

あした... 転機に、なあれ!

や、さびらよう!
飲んだつもりで
コミュニケーション